

女子大学 大学院国際社会システム研究科国際社会システム専攻修士課程
2004年4月開設（設置認可申請中）

設置の趣旨

多様な政治的、歴史的、文化的背景を持つ国、民族、人間が交流する中で、国際社会は新たに多くの課題を抱えている。

国際社会システム研究科は、このような状況にあって、①国際組織の活動を中心とした国際協力、②国際社会の相互理解・発展をめざす文化面、経済面での国際交流、③宗教的・地域的・社会心理的側面からの現代社会の理解、という3つの観点から、国際社会の諸課題に対し

て「共生の道を探る」新たな国際社会システムの構築をめざして、教育研究を展開する。

21世紀の国際社会の諸課題に主体的に関わり、かつ指導的な役割を果たすことができる人材の育成を目的としている。

入学定員 10人
学位 修士(国際社会システム)
設置場所 京田辺校地

2004年度入試案内

入試形態	試験日	出願期間	合格者発表	試験科目	試験地
一般	2月27日(金)	1月30日(金)	3月3日(水)	英語、研究分野の専門科目に関する小論文、面接 (英語は一般のみ実施)	京都 (京田辺キャンパス)
外国人留学生		2月12日(木)			
社会人		郵送のみ。消印有効			

News! 2005年大学に文化情報学部が誕生 (設置構想)

2005年4月、データサイエンスの技法を基盤とし、文化と言語および情報を対象として教育研究を行う理工学系と人文学系の斬新な融合型学問をめざす、文化情報学部を開設する。論理解析を含むデータサイエンスを基盤にコンピュータを駆使した情報解析をその基礎から応用まで徹底的に学ぶと同時に、その方法を言語や古典文献、芸術や文化遺産、科学などの理解・研究に適用する。

1学年250人の定員を予定し、全学年の授業が京田辺キャンパスで開講される。京田辺校地の活性化という全学的課題に速やかに対応し、2004年度に続く同志社大学の教学体制の刷新を社会にアピールすることができる。

本学部では、外国語の運用、データサイエンスの基礎と応用およびこれらの文

化や言語と情報理解への適用を横断的に履修可能とする。また、複数教員と学生によるプロジェクト研究の実施や、1・2年次生に研究方法を学ばせ、3・4年次生には発表の場を提供するコロキウム方式の採用など、多様な学生が学問の枠にとらわれず共に学び幅広い知識と広い視野を身に付ける教育を展開する。



大学京田辺キャンパス「新研究室・教室棟(仮称)」完成予想図